



イラストレーター
寺田マユミさん

川西市出身。実家は文具店で、幼いころから画材に囲まれて育つ。結婚し、夫のバンド活動に使用するフライヤーなどを作成。グループ展などに出展するようになり、イラストレーターとしての仕事が入るようになる。18年にFM802主催のアーティスト発掘プロジェクト「digeout」のオーディションに通過。現在、雑誌や広告のイラスト、個展の開催など、精力的に活動を続けている。個展などの最新情報は、フェイスブックやツイッターで配信中。



写真左／鉛筆やクレパス、切り絵のほか、アクリルガッシュなどで、さまざまな作品を完成
 右／「レトロ印刷」では、印刷するごとに、微妙に版ズレが生じるため、同じ作品が生まれることはない 下／「OSAKA POWER LOOP」号は、現在もJR大阪環状線を走行している

新しいことも断らずにチャレンジ
どんな仕事も楽しむ

人とのつながりでプロのイラストレーターに
 自分の作品が生活の一部になっていることがうれしい

「イラストレーターになったきっかけは？」

子どものころから、絵を描くのは得意でしたが、イラストレーターになれるなんて、全く思っていませんでした。結婚後、知人のCDジャケットの制作に携わったときに、FM802の人を紹介してもらって。それをきっかけに受けた「digeout」のオーディションに合格し、プロになりました。今、イラストレーターとして活動できるのも、人とのつながりがあったから。縁って不思議ですね。
苦労した作品はありますか？

「大阪環状線改造プロジェクト」の一環で、ラッピング電車「OSAKA POWER LOOP」号を制作したときですね。車両がとにかく長くて大きかったので、イラストを描くのが難しかったです。この電車、実は今でも走っているんですよ。自分の作品が、皆さんの生活の一部になっていると思うとうれしいですね。

「イラストレーターとして大切にしていることを教えてください」

自分の可能性を狭めたくないので、頂いた仕事は断らないようにしています。それに、初めてのこともでも、やってみると意外にできるんですよ（笑）。また、仕事は絶対に楽しむようにしています。どんなことでも自分なりの楽しさを見つけて。6月下旬に自身初の書籍を発刊する予定です。今後もしろいろなことにチャレンジしていきたいですね。

※ 6月号7ページ「すくすく乳幼児相談」の時間を午後9時半—11時半としていましたが、午前9時半—11時半の誤りでした。また、21ページ「観葉植物の管理講習会」の講師を(株)花宇代表取締役の西島勲造さんとしていましたが、(株)花宇の西島勲造さんの誤りでした。おわびして訂正します。

CHECK & QUIZ 次の空欄（○の中）を埋めてください。

1：始まる！○歳選挙 2：青少年○れあいデー
 クイズ正解者の中から図書カード（1,000円分）を5人に差し上げます（正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します）。応募方法：ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、今号で興味のある記事と感想を書き、7月11日（月）（消印有効）までに〒666-8501・かわにし魅力推進室「クイズ」係へ。
 ※6月号の正解は（子）（災）で、111通の応募がありました。

5月末現在の人口

男……………75,958人（-20）
 女……………83,855人（+13）
 計……………159,813人（-7）
 世帯数…69,241世帯（+74）

川西の元気いっぱいキャラクター きんたくん



桃の季節だね